

第6回ユース年金学会の参加募集要領

2020年7月6日

日本年金学会
公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構

1 趣旨

日本では国民皆年金が確立しています。「20歳になったら国民年金」で、大学の学部学生の方は、途中から国民年金の被保険者になり、国民年金保険料の納付義務が発生します。

年金は「世代と世代の支え合い」の仕組みであり、国民年金の被保険者の中で最も若い年代に属する学部学生の皆さんも公的年金にとって重要な存在です。しかし、世界に類を見ない少子高齢化が進むことなどから、将来自分たちは年金をもらえなくなるのではないかといった不安や危機感を持っている人も多いのではないのでしょうか。

一方で、最近では、大学のゼミで年金を取り上げるところも増えています。また、社会保障論の受講などをきっかけに年金問題に関心をもってグループで研究するといったこともあるかもしれません。その中で年金をより良いものにしていくための独自のアイデアなどを考えている人もいると思われれます。

そこで、年金に関する学術研究を目的とする学会である日本年金学会と、年金に関する専門研究機関である公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構は、ゼミや研究グループが集まって、年金に関するプレゼンを行っていたく機会を設けることにしました。

それぞれのゼミなどで議論を深めることは有意義ですが、それを外部に向けて発信して初めて客観的な評価を得ることができます。また、他のゼミなどと比較し合うことによって、より一層の研さんを積む刺激になります。

発表テーマは、年金に関連するものである必要がありますが、年金制度、人口変動、資金運用、労働、経済財政など幅広い分野からテーマを設定することを可とします。

年金には法律、政治、経済、社会、財政、税制、経営、金融、数理、会計など、様々な観点からアプローチが可能な広範な問題領域があります。多くの学部生のチームが奮って参加されることを期待します。

2 開催日程

2021年12月4日（土）

※開始・終了時刻は、参加チームの数が確定した時点で決定します。

※11月30日は「いい未来」の語呂に由来する「年金の日」です。開催日がこれに近いことから、「年金の日」にちなむ行事と位置付けます。

3 開催形式

対面式を含む ZOOM とのハイブリッド形式

※開催時点における感染状況等に鑑み変更する可能性があります。

4 会場

慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎 3 階 533 教室

5 参加方法

・参加資格

大学の学部学生で構成されるチーム（ゼミ、研究グループなど）であって、その指導教員が日本年金学会の会員であるか、入会申込中であること

※チーム構成員に教員や大学院生が加わり発表を行うことは不可

※参加できるのは指導教員1人につき1チームとします。

・参加申込み

別紙1の参加申込書に必要事項を記入して、日本年金学会事務局にメールで提出してください。

申込期間 2021年9月21日（火）～10月15日（金）

申込み先 n-okamura@nensoken.or.jp

・参加費 無料

6 発表方法

・発表要旨の提出

各発表チームは、別紙2に準拠した様式で5千字程度（A4で4～5枚）の発表要旨を Word で作成し、日本年金学会事務局に提出してください。

提出期間 2021年11月8日（月）～11月26日（金）

提出先 n-okamura@nensoken.or.jp

※発表要旨は、事前に WEB 掲載いたしますので、締切りに遅れないようお願いします。

・当日の発表

当日は、発表要旨に基づき、発表を行っていただきます。

発表順 原則として発表要旨の提出逆順(早く提出したチームが後)

発表時間 30分

25分経過時点で終了時刻5分前のお知らせを行います。
終了予定時間を5分超過しても終了しない場合は、その時点で強制終了とします。

※なお、参加チーム数が多い場合、発表時間を20分とすることがあります。

質疑時間 発表に対し、参加者等から質疑やコメントを行う時間を10分程度取ります。

発表方法 次の①～③から選択してください。

- ① 会場にチームメンバーが集合して発表する。
- ② 会場以外の適宜の場所にチームメンバーが集合して発表する。
- ③ その他(事務局にご相談ください)

※発表資料の操作(文書共有)は原則として発表チームに行っていただきます。

※あらかじめ作成済みの発表動画を自らの操作により配信することも可能です。

※質疑は、Zoomのウェビナーの機能に基づいて実施します。

なお、各チームに対し、最初に質疑を行うチームを設定します。どのチームも少なくとも1質問以上を質疑応答の冒頭に行っていただきます。

パワーポイントの使用

当日の発表ではパワーポイントの使用を推奨いたします。

ファイルは、12月2日(木)正午までに日本年金学会事務局にメールで送付してください。WEBサイトに掲載させていただきます。

7 意見交換及び講評

発表終了後、厚生労働省の職員と各チーム代表者との意見交換を予定します(30分程度)。その後、有識者による講評を行います。

8 交流会

本年の交流会は開催いたしません。

9 その他

本年のユース年金学会は慶應義塾大学ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センターとの共催にて実施いたします。

問合せ先

日本年金学会事務局

〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13 NBF 高輪ビル 4 階

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構

総務企画部 岡村なな子

n-okamura@nensoken.or.jp

TEL: 03-5793-9411

(別紙 1)

ユース年金学会参加申込書

2021年12月4日(土)

チーム名					
代 表 者	氏 名				
	電話番号				
	E-mail (携帯不可)	※主な連絡は代表者に E-mail で行いますが、必要な場合は下記に郵送することもあります。			
	住 所	〒 ー			
チーム参加者 氏名・所属・学年 ※当日参加する全ての人について記載してください。		氏名	学部	学科	学年
		(合計 人)			
所属大学名		大学			
指 導 教 員	氏 名	(当日 参加・不参加)			
	E-mail				
	電話番号				
発表テーマ (50字以内)					
発表概要 (200字以内)					

(備考) ・指導教員が日本年金学会の会員でない場合は、本申込に併せて入会申込をしてください。

・本票に記載の個人情報は、ユース年金学会の運営のみに利用します。

なお、本様式の Word 版(書込み可能)が下記リンクからダウンロードできますのでご利用ください。

http://www.pension-academy.jp/youth/pdf/yoshiki_wd.docx

発表テーマ

チーム名：

チーム構成員氏名：○山○男、○野○郎、○川○子、○井○美

1 はじめに

……。これを世界で初めて指摘したのはジョン・スミスであり、Smith(1995)は「……」(本チームによる仮訳)と指摘している。……。

2 ○○○

2-1 ○○○

……。これについて○田(2014)は「……」と説明している。……。

2-2 ○○○

……。これに対し○村(2015)は「……」と反論している。……。

3 ○○○

3-1 ○○○

……。……。

3-2 ○○○

3-2-1 ○○○

……。……。

3-2-2 ○○○

……。……。

4 ○○○

……。……。

(参考文献)

Smith, J (Published year) “Headline of the Report”, *Title of the Document*

○田○彦(発刊年)「論文名」、『誌名・巻号』

○村○枝(発刊年)『書名』、出版社

※1 Word11ポイントで作成してください。適宜図表などを挿入してもかまいません。

※2 先行研究を引用する場合は、上記例にならい適切に出典明示してください。無断引用は厳に慎んでください。